

第14回おしゃべりサロン レポート

今回、14名の子育て世代のママさんたちとお子様に参加してくださいました。3つのテーブルに分かれて少人数で話し合いをしました。今回のテーマは、先日子育て世代向けの実施したアンケートの結果を見ながら意見を交わしました。

(1)、袋井子育て世代向けアンケートを見て

- ・困っているお母さんやお父さんの声を、みんなのぼけが行政に伝えていく役割をもっとしていきたいと思いました。
- ・「学校に行けなくなった不登校の子供たち」や「なんとか学校には行けるけど教室にいけない保健室登校の子供たち」のための第二の教室や、保健室の先生のサポート体制を強化してほしい。
- ・子育てで悩んでいる方々が多いので、子育て情報や預かれる施設、サポートセンターなどの情報提供、発信があれば悩んでいるお母さん達に情報が届くのでは。
- ・あきらめている思っているところを救ってあげたい。
- ・昔の子育てと今の子育てはあまり変わっていないと思う。
- ・妊娠や子育てに関する情報がきちんと伝わっていない。もっと早い段階で知っていたかかったことや知っていれば困らなかったことがある。情報を一元化して、わかりやすくして欲しい。
- ・医療的ケアを必要としている子が普通級に登校できるよう、支援体制を整えて欲しい。

情報提供については:

- ・サポートなどの情報
- ・ファミリーサポートは無料で利用できる
- ・気軽に、子どもを預かってくれる施設
- ・学校などの情報など
- ・色んな団体が子育てについて活動されているので、サポート支援の連携をとっていきたい。

(2)、放課後児童クラブ(学童保育)について

現在の待機児童は、袋井南小、袋井北小、山名小が待機児童が多いです。

今後、どう対策していけばいいのか。

- ・民間学童があれば、入所したい方もいると思う。
- ・放課後デイは、少しずつ増えているのに、なぜ民間学童はないの？
- ・公立の学童保育だけでも、値段に差をつけて運営するのはどうか？
- ・ICTは進んでいるのに子育て支援については、遅いと思う。

- ・袋井のコミュニティーセンターは、子ども達が来ると、厳しいと思います。
- ・市外のコミュニティーセンターは、気軽に子ども達が来て遊んでいます。なぜ袋井は厳しいの？
- ・6年生まで学童保育は対応しているはずだが、4年生になったら待機児童になってしまい困っている。特に夏休みなどの長期休みが心配。
- ・空いている施設を使って児童館、学童など子ども達の居場所があれば親も助かります。
- ・パート勤務の方は、長期休みの学童に入れているのに、常勤で働いている家庭が学童に落ちた場合、長期休みも自動で入れないのは困る。高学年になれば、一人でお留守番もできるだろうから平時はいいとしても、長期休暇は子供を一人にしておく時間が長すぎて心配。結局、離職するしかなくなる。民間のセキュリティーシステムを導入したり、色々手を尽くしてはいるが、限界がある。常勤で勤務する家庭は、学童にせめて長期だけでも優先的に入れるようにして欲しい。